

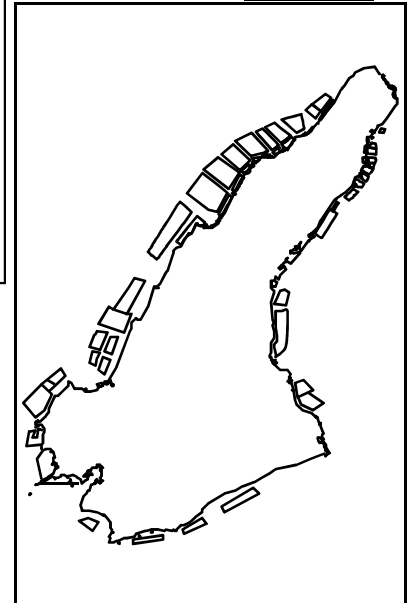
兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 12号)

平成31年 2月15日発行
兵庫のり研究所

大阪湾に面する漁場では、小型珪藻スケルトネマが優占種として多く確認されており、栄養塩（窒素・リン）が著しく低い値となっています。一方、播磨灘に面する漁場では、コシノディスカスが確認されますが発生量に大きな増減はなく、窒素は概ね $2 \mu\text{g-at} / \text{L}$ 台でした。

(珪藻) 淡路東浦漁場ではスケルトネマが、海水1mlあたり1000~2000細胞と多く見られ、窒素・リンともに大きく低下している。他、コシノディスカスやタラシオシラも少し確認される。大阪湾に面している灘漁場においても同様にスケルトネマが多かった(1mlあたり850細胞)。淡路西浦及び湊・阿万漁場では、コシノディスカスが散見される以外珪藻は確認されなかった。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	2.9	0.6	3.4	4.0
	リン	0.31	0.13	0.37	0.41
西浦地先	窒素	5.6	2.1	2.7	4.0
	リン	0.53	0.35	0.38	0.46
南浦地先	窒素	3.8	2.4	3.4	4.5
	リン	0.40	0.29	0.40	0.46

(2/6)

(2/14)

栄養塩 (窒素) 図

平成31年 2月15日調査

